

花巻市告示第328号

地方自治法及び花巻市財政状況の作成及び公表に関する条例の規定により、平成22年度上期予算の執行状況と平成21年度の決算状況を公表します。

平成22年11月30日

花巻市長 大石 満雄

# 花巻市の財政状況

## 目 次

平成22年度予算の執行状況（上期）	1 ~ 2
市民負担の状況	3
財産、市債及び一時借入金の現在高	4
平成21年度の決算状況について	5 ~ 7

# 平成22年度予算の執行状況(上期)

平成22年9月30日現在

## 1 一般会計

平成22年度の歳入歳出予算は、当初444億3,869万2千円でありましたが、その後6月と9月に補正予算として18億2,069万3千円を増額しており、前年度からの繰越額23億7,749万8千円を合わせた最終予算現額は、486億3,688万3千円となっております。

平成22年度予算における上期の執行状況は、平成22年9月30日現在、収入総額で236億8,342万5千円、支出総額で170億6,204万2千円となっております。

【歳入】

(単位：千円)

科目名	予 算 現 額				収入済額 (累計)	収入割合 (累計)
	当初予算額	補正予算額 (上期)	繰越事業額 繰越	計		
市税	10,520,473	0	0	10,520,473	5,984,566	56.9%
地方譲与税	946,900	0	0	946,900	295,993	31.3%
利子割交付金	26,500	0	0	26,500	14,424	54.4%
配当割交付金	5,700	0	0	5,700	2,670	46.8%
株式等譲渡所得割交付金	1,700	0	0	1,700	0	0.0%
地方消費税交付金	913,100	0	0	913,100	520,914	57.0%
ゴルフ場利用税交付金	21,900	0	0	21,900	7,835	35.8%
自動車取得税交付金	158,400	0	0	158,400	68,469	43.2%
地方特例交付金	167,100	0	0	167,100	161,414	96.6%
地方交付税	15,360,000	110,030	0	15,470,030	11,318,906	73.2%
交通安全対策特別交付金	20,300	0	0	20,300	10,989	54.1%
分担金及び負担金	610,067	21,863	0	631,930	217,609	34.4%
使用料及び手数料	823,135	0	0	823,135	330,182	40.1%
国庫支出金	4,850,629	-1,337	1,293,505	6,142,797	2,609,747	42.5%
県支出金	2,946,851	212,884	21,366	3,181,101	446,049	14.0%
財産収入	126,447	0	0	126,447	25,151	19.9%
寄附金	2	380	0	382	645	168.8%
繰入金	284,004	81,068	0	365,072	0	0.0%
繰越金	1	53,555	300,527	354,083	1,163,562	328.6%
諸収入	1,346,683	14,850	0	1,361,533	188,300	13.8%
市債	5,308,800	1,327,400	762,100	7,398,300	316,000	4.3%
合 計	44,438,692	1,820,693	2,377,498	48,636,883	23,683,425	48.7%

【歳出】

(単位：千円)

科目名	予 算 現 額				支 出 済 額 ( 累 計 )	支 出 割 合 ( 累 計 )
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( 上 期 )	繰 越 事 業 繰 越 額	計		
議会費	298,056	0	0	298,056	142,390	47.8%
総務費	5,142,315	141,687	284,575	5,568,577	2,631,873	47.3%
民生費	11,675,488	51,063	138,651	11,865,202	3,765,851	31.7%
衛生費	2,599,903	34,096	43,626	2,677,625	951,789	35.5%
労働費	399,328	90,605	0	489,933	232,651	47.5%
農林水産業費	2,354,816	4,810	0	2,359,626	336,396	14.3%
商工費	1,783,642	401,195	11,300	2,196,137	1,368,997	62.3%
土木費	6,034,743	22,971	426,686	6,484,400	947,210	14.6%
消防費	1,608,986	0	424,990	2,033,976	776,335	38.2%
教育費	5,417,047	1,071,916	1,045,402	7,534,365	2,478,231	32.9%
災害復旧費	2,000	2,350	2,268	6,618	4,948	74.8%
公債費	7,082,367	0	0	7,082,367	3,425,372	48.4%
諸支出金	1	0	0	1	0	0.0%
予備費	40,000	0	0	40,000	0	0.0%
合 計	44,438,692	1,820,693	2,377,498	48,636,883	17,062,042	35.1%

## 2 特別会計

公営企業を除く9の特別会計の総予算は、当初265億7,365万円でありましたが、上期に特別会計合計で2,281万8千円の補正を行い、前年度からの繰越額2億3,174万3千円を合わせた特別会計総最終予算額は、268億2,821万1千円となっております。

平成22年度における執行状況は、平成22年9月30日現在、収入総額で81億8,398万4千円、一方、支出総額で105億3,585万5千円となっております。

(単位：千円)

会計名	予 算 現 額				収 入 済 額 【歳入割合】	支 出 済 額 【支出割合】
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 ( 上 期 )	繰 越 事 業 繰 越 額	計		
国民健康保険	9,693,535	0	0	9,693,535	3,948,526 [40.7%]	3,964,240 [40.9%]
老人保健	615	3,152	0	3,767	9,745 [258.7%]	2,119 [56.3%]
後期高齢者医療	1,654,680	0	0	1,654,680	258,422 [15.6%]	639,635 [38.7%]
介護保険	7,944,912	19,666	0	7,964,578	3,168,722 [39.8%]	3,340,876 [41.9%]
簡易水道事業	375,807	0	0	375,807	92,233 [24.5%]	130,409 [34.7%]
老人保健施設事業	318,394	0	33,905	352,299	138,882 [39.4%]	167,524 [47.6%]
公設地方卸売市場事業	65,854	0	0	65,854	15,366 [23.3%]	28,294 [43.0%]
下水道事業	4,315,557	0	197,838	4,513,395	407,965 [9.0%]	1,587,613 [35.2%]
農業集落排水等污水处理事業	2,204,296	0	0	2,204,296	144,123 [6.5%]	675,145 [30.6%]
合 計	26,573,650	22,818	231,743	26,828,211	8,183,984 [30.5%]	10,535,855 [39.3%]

# 市民負担の状況

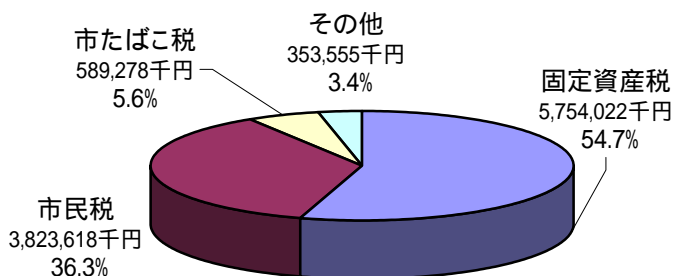
平成22年9月30日現在

市税は、市政運営のために欠くことできない財源であり、歳入予算総額の約2割強を占めています。平成22年9月末の予算額で見ますと市税の予算額は、105億2,047万3千円となっており、これを平成22年9月末の人口（102,607人）及び世帯数（35,686世帯）で割りますと、市民1人当たり10万2,532円、1世帯当たり29万4,807円の負担となります。

また、歳出予算額を見ますと、462億5,938万5千円となっており、市民1人当たり45万840円、1世帯当たり129万6,289円の経費が掛ることとなります。

市税の経費に対する負担割合は、22.7%となっております。

## 市税の構成



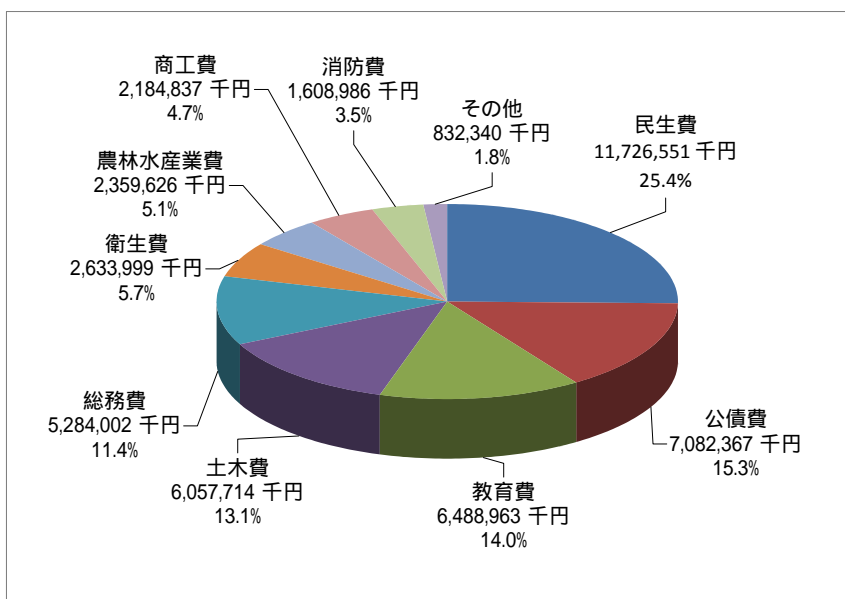
## 市民一人当たりの市税負担額

科目	予算額
固定資産税	56,078 円
市民税	37,265 円
市たばこ税	5,743 円
その他の税	3,446 円
合計	102,532 円

各項目予算額 / 9月末の人口

市税予算額 10,520,473千円

## 経費の目的別内訳



## 市民一人当たりの経費

科目	予算額
民生費	114,286 円
公債費	69,024 円
教育費	63,241 円
土木費	59,038 円
総務費	51,497 円
衛生費	25,671 円
農林水産業費	22,997 円
商工費	21,293 円
消防費	15,681 円
その他	8,112 円
歳出合計	450,840 円

各項目予算額 / 9月末の人口

歳出予算額 46,259,385千円 繰越額を除く

# 財産、市債及び一時借入金の状況

平成22年9月30日現在

## 1 花巻市の財産

### 公有財産

公有財産とは、市が所有している土地、建物、有価証券、出資による権利などの財産をいいますが、使用目的によって、行政財産（庁舎、消防施設などのような公用または学校、公営住宅、公園などの公共用に利用される財産をいいます。）と普通財産（行政財産以外の市の財産をいいます。）に区分されます。

区 分		土地	(うち山林)	建物	有価証券・出資	債権
公有財産	行政財産	5,654,763.58 m <sup>2</sup>		503,546.21 m <sup>2</sup>		
	普通財産	13,927,938.49 m <sup>2</sup>	12,137,364.00m <sup>2</sup> 441,969.43m <sup>3</sup> (立木)	44,923.58 m <sup>2</sup>	3,692,831 千円	1,321,575 千円
合 計		19,582,702.07 m <sup>2</sup>		548,469.79 m <sup>2</sup>	3,692,831 千円	1,321,575 千円

注) 土地(うち山林)の立木材積(m<sup>3</sup>)については推定値

### 財政調整基金

財政調整基金とは、財政調整積立金ともいい、経済の不況等により大幅な税収減に見舞われたり、災害の発生等により思わぬ支出の増加を余儀なくされたりするような予期しない場合に備え、積立している基金であります。

財政調整基金残高	3,479,112千円
----------	-------------

## 2 市債の状況

学校、公園、橋などの大規模な建設事業は、その年度の財源のみでは計画的な整備を推進することができません。

そこで市は、財務省・公営企業金融公庫・銀行などから資金の長期借入をします。これを市債といいます。これらの施設は、将来の市民も利用することになりますので、世代間の負担の公平を図ることができ、また、市債を活用することによって、生活環境施設の早急な整備が可能となります。

### (1) 一般会計

(単位：千円)

区 分	平成22年度発行予定額	平成22年度末残高見込額
普通債	5,766,100	46,563,211
災害復旧債	2,100	261,471
その他	1,630,100	14,436,079
合 計	7,398,300	61,260,761

### (2) 特別会計

(単位：千円)

区 分	平成22年度発行予定額	平成22年度末残高見込額
簡易水道事業	41,600	1,637,427
老人保健施設事業	0	469,112
公設地方卸売市場事業	0	233,978
下水道事業	1,459,700	31,878,425
農業集落排水等汚水処理事業	695,400	15,905,662
合 計	2,196,700	50,124,604

## 3 一時借入金の状況

一時借入金とは、年度途中において支出が収入を上回り、歳計現金に不足を生じた場合に、その不足を補うために借り入れることをいいます。その借り入れの最高額は、予算で定めることとされております。

区 分	借入残高
一般会計	0
国民健康保険特別会計	0
介護保険特別会計	0
簡易水道事業特別会計	0
老人保健施設特別会計	0
下水道事業特別会計	0
農業集落排水等汚水処理事業特別会計	0

# 平成21年度決算について

## 1 一般会計決算

### (1) 歳入歳出決算の概況について

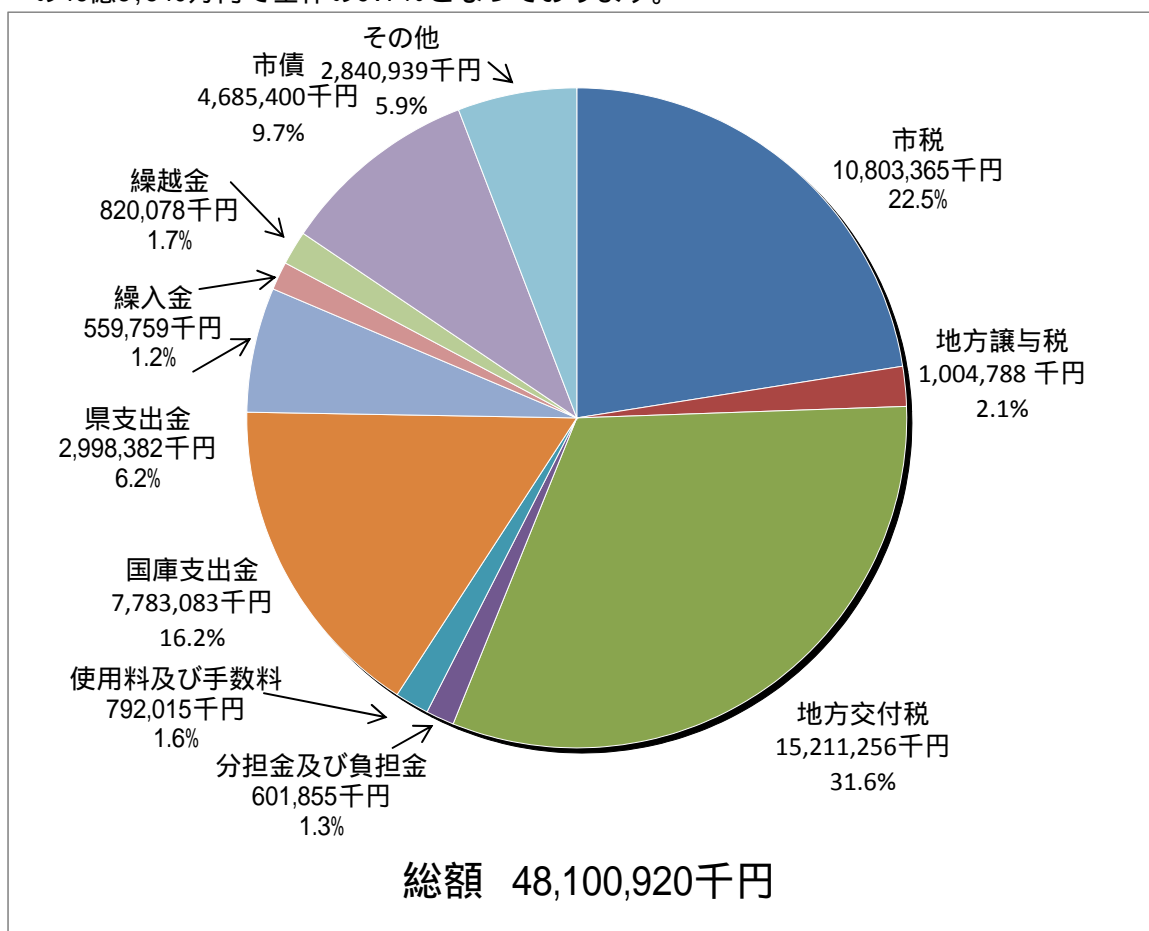
平成21年度一般会計の歳入決算額は、厳しい経済情勢により税収が減少しているなかで、地方交付税や国庫支出金等の増加によって、前年度から23億1,687万8千円増の481億92万円となりました。

歳出決算額は、財政健全化に取り組む一方、総合計画に掲げる事業を着実に推進するため、事務事業評価のもと、緊急性、事業効果及び後年度に及ぼす財政負担等を勘案しながら優先順位の厳しい選択を行うとともに、真に必要な市民サービスについては、積極的かつ果敢な施策の展開に努めた結果、昨年度から19億7,339万4千円増の469億3,735万8千円となりました。

区 分	平成21年度決算額
歳 入 総 額	48,100,920 千円
歳 出 総 額	46,937,358 千円
歳 入 歳 出 差 引 額	1,163,562 千円
翌年度へ繰越すべき財源	300,527 千円
実 質 収 支 額	863,035 千円

### (2) 歳入

歳入の中で一番大きい額となっているのは、地方交付税であり152億1,125万6千円で全体の31.6%を占めております。次いで市税が108億336万5千円で構成比は22.5%、国庫支出金が77億8,308万3千円で16.2%となっております。市債は平成20年度よりも5億9,490万円減の46億8,540万円で全体の9.7%となっております。



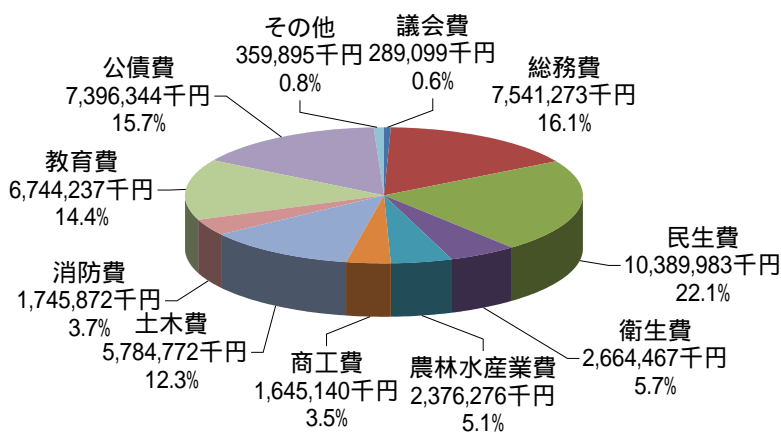
### (3) 歳出

#### 目的別歳出内訳

歳出予算の主なものとしては、子育てに関する仕事や高齢者などの福祉に使われる民生費が一番多く、全体の22.1%を占めています。

つづいて総務費、公債費、教育費の順となっております。

歳出(目的別)

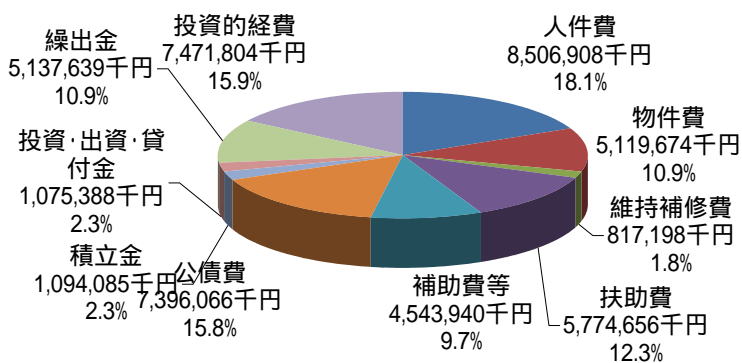


#### 目的別経費と性質別経費

目的別経費とは、どのような行政上の目的のために費やされているかという基準により分類されるものです。

一方、性質別経費とはその経費がどのような性質を有するかに着目して分類するものです。

歳出(性質別)



#### 性質別歳出内訳

性質別歳出の主なものとしては、職員の給料等の人件費が18.1%、道路や学校の建設など社会資本の整備にかかる経費である投資的経費が15.9%、市が借り入れた地方債の償還金等の公債費が15.8%となっております。

## 2 特別会計決算

平成21年度の公営企業法を除く特別会計10会計の決算は、歳入総額が278億3,884万2千円、歳出総額が271億6,939万9千円となっております。

(単位：千円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	立平反、繰越すべき財源	実質収支額
国民健康保険	9,831,389	9,427,908	403,481	0	403,481
老人保健	27,234	17,490	9,744	0	9,744
後期高齢者医療	1,634,859	1,631,092	3,767	0	3,767
介護保険	7,736,438	7,726,860	9,578	0	9,578
簡易水道事業	376,762	349,085	27,677	0	27,677
石鳥谷東中央部営農飲雑用水施設事業	69,726	22,142	47,584	0	47,584
老人保健施設事業	345,403	314,072	31,331	0	31,331
公設地方卸売市場事業	55,962	54,346	1,616	0	1,616
下水道事業	5,255,858	5,188,711	67,147	5,388	61,759
農業集落排水等污水处理事業	2,505,211	2,437,693	67,518	0	67,518
特別会計合計	27,838,842	27,169,399	669,443	5,388	664,055

### 3 平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率

健全化判断比率は、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのものとして、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」によって、実質赤字比率等を算定し公表することが義務付けられています。もし、健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上である場合には「財政健全化計画」を、再生判断比率のいずれかが財政再生基準以上である場合には「財政再生計画」を、当該判断比率を公表した年度の末日までに定めなければなりません。

また、資金不足比率についても算定と公表が義務付けられており、公営企業の健全度を測る指標で、公営企業会計ごとで事業規模に対し実質赤字額もしくは資金不足額がどのくらいの割合かを表したものです。この比率が高いほどその企業の事業規模に比べ累積された資金不足額が生じていることになるため、公営企業としての経営状況に問題があることとなります。資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を定めなければなりません。

#### (1) 花巻市健全化判断比率

花巻市では、平成21年度決算において、実質赤字比率と連結実質赤字比率は実質赤字が発生しなかったため、算出されませんでした。また、健全化判断比率のすべての指標で早期健全化基準を下回りました。

健全化判断比率	平成21年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- %	11.87 %	20 %
連結実質赤字比率	- %	16.87 %	40 %
実質公債費比率	19.2 %	25 %	35 %
将来負担比率	151.0 %	350 %	

#### 実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率

#### 連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額又は資金の不足額の標準財政規模に対する比率

#### 実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模 に対する比率

#### 将来負担比率

地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模 に対する比率

標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額

#### (2) 花巻市資金不足比率

花巻市では、平成21年度決算において、すべての公営企業会計で資金不足が生じなかったため、資金不足比率は算出されませんでした。

会計名	資金不足比率	経営健全化基準
花巻市簡易水道事業特別会計	- %	20 %
花巻市石鳥谷東央部営農飲雑用水施設事業特別会計	- %	20 %
花巻市公設地方卸売市場事業特別会計	- %	20 %
花巻市下水道事業特別会計	- %	20 %
花巻市農業集落排水等汚水処理事業特別会計	- %	20 %